

皆さんこんにちは。今年は4月2日から5日までがイースター（復活祭）の4連休です。ニュージーランドでは年に4日、特別な場合を除き、お店の営業が認められていない日があります。クリスマス、アンザックデー（半日のみ）そしてイースターのグッドフライデー（金曜日）とイースターサンデー（日曜日）です。昨年のイースター連休は、コロナウイルスの影響でレベル4（最大の警告レベル）の期間でした。外出規制でどこにも行けませんでした。近所の方々が窓際や玄関先にイースターエッグ（たまご）の置物やウサギのぬいぐるみを置き、散歩中の私たちを楽しませてくれたのを思い出します。現在ニュージーランドは警告レベル1です。1. 体調不良の場合は家で過ごし、ウイルス感染の検査を受ける。2. 外出の際には追跡アプリを使い、どこへ行ったか逐一記録する。3. 公共交通機関ではマスクの着用。という3つの大きな対策を続けながらほとんど普通の生活に戻っています。今月末からは紅葉も見頃になってくる季節、規制の緩和された今年は違った光景が見られそうです。「Support Local（サポートローカル）」という言葉をよく耳にします。地元のビジネスを積極的に選ぶことで経済を支援しよう、という取り組みです。どこへ行くのも難しい今、それぞれの地元の良さを再発見する良い機会になることを願っています。

それではまた来月。See you! ブース千尋

ビクターレコードの夜明け

ビクターレコードは、コロムビアレコードに続いて歴史の古いレコード会社です。アメリカ系の会社として、昭和2年に設立されました。太平洋戦争の末期には、アメリカの情報が行き渡り、終戦の昭和20年8月、90%以上が壊滅状態となりました。しかし、社員たちは戦後の「新生」ビクターレコードを2年もの月日を費やし復興させ、立て直しました。終戦から2年後の昭和22年、戦後初となる第1回発売「港が見える丘」（歌：平野愛子）をライバル会社だった、コロムビアのレコーディングスタジオを借りて発表する事ができたのでした。「港が見える丘」のレコーディングの際、社員たちは戦後の新しい音楽を自由に発売できる時代が到来したと、喜び合い奮い立ったのでした。ここから、戦後の「日本ビクターレコード」がスタートしました。戦後は、シベリア抑留から復員して間もない、吉田正を専属作曲家として迎え、「街のサンドイッチマン」（歌：鶴田浩二 昭和28年）や「赤と黒のブルース」（歌：鶴田浩二 昭和30年）、「有楽町で逢いましょう」（歌：フランク永井 昭和33年）など今までの歌謡曲になかった「都会派メロディー」と言われる新しいジャンルを切り開き、次々とヒットさせました。

今月の「昭和レトロコンサート」では、小畑実や鶴田浩二、フランク永井などビクターレコードの男性スター歌手のヒット曲ばかりを皆様にお届けします。 ミントの家 山根 徹

昭和レトロコンサート

ビクターレコードの男性スター歌手のヒット曲をお届けします

ビクターレコード 男性歌手 ヒット曲集

「きらめく星座」「落葉しぐれ」「有楽町で逢いましょう」ほか

日時 四月七日（ケアハウス王喜の郷・食堂） 十三時三十分～十五時

四月二十八日（グループホーム王喜の郷） 十三時三十分～十五時

「懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください」

【会費】 三〇〇円（お茶代・資料代）

【お問い合わせ】 山根（ミント） 中村（ケアハウス）



たんぽぽ通信

4月1日発行 170号
ケアハウス王喜の郷 令和3年4月号

今年は例年になく早い桜の開花でした。さて皆様、放課後等デイ「さくら」を覚えていらっしゃいますか。昨年（令和2年）7月に隣のシニアハウス、ミントの家の奥に小さな日本家屋が出来ました。そこには月曜日から土曜日まで学齢期の子供たちが放課後にやってきます。

近所の民家で5年間過ごしていましたが、やっと皆様と一緒に過ごす時間が持てると思いきや今回のコロナです。子供たちの輝く生命力が私どもの法人に力を与えてくれる気がいつもします。支援員が「さくら」コーナーにそんな子供達の成長を書いています。今年も「さくら」に来ていた子供達が卒業して仕事についていきます。おめでとう。社会の中で多くの楽しみや苦しみを乗り越えて行ってね。いつも誰かが支えています。あなた達も誰かを支えているのよ。

ケアハウスの周りの檜の木を約3メートルで伐採し、中庭が大変明るくなりました。ゆず、柿、ブルーベリーの木に日差しが当たり今年は実って皆様の食卓にのぼるでしょう。もうじきアメリカはなみずきの薄赤い花も咲き始めます。3月22日には最初の燕も下見にやってきました。ご覧ください。日常に取り紛れ、忘れていても草木は芽を出し、花を咲かせてくれていますよ。 施設長 末谷 千秋

4月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1 K 様誕生日	2	3
4 清明	5	6	7 昭和レトロコンサート	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 春の土用入り
18	19 ビューティヘルパー 理容、美容 13:30~	20 教員 ビューティヘルパー 美容のみ 9:30~	21	22	23	24
25	26	27	28 昭和レトロコンサート	29 昭和の日	30	

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
***ビューティヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
***イズミ行き:午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
***レトロコンサート:午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円
***なの会(習字)はお休みさせていただきます。

ケアハウス王喜の郷

心地よい陽射しが降り注ぐ頃になりました。
 今年の春よりずっとコロナウイルスと共に過ごしてきましたが、ようやく明るいニュースとしてワクチン接種が始まりました。皆様のもとにも一日も早くワクチンが届いて接種ができたらと期待しています。

また、暖かくなりつい気が緩まれると思いますが、気を引き締めて皆で頑張りましょうね。

介護職員 中村 ひふみ

3月22日にケアハウス食堂に12名の方々に集まって頂き第三者委員の的場、藤井様、松本理事もまじえてたくさんのご意見を聞かせていただきました。

食堂の白板に掲示しておりますのでご覧ください。

廊下をリハビリ目的で歩くことで脚力をつけたいとのご要望がありました。これから天候もよくなるので、日光を浴びての戸外での散歩をお願いします。

ケアハウス王喜の郷(厨房)

筍がでる季節となりました。1日おき位にまだ小さな筍が少しずつ厨房に入荷しています。初日は筍寿司を昼食に出しました。小さい筍なのでとても柔らかいです。これから煮物や汁などに出しますので楽しみにされて下さい。

まだ朝、晩が冷え込みますが天気が良く温かい日が続いていますね。そのような日には外で日光浴をしましょう。太陽の光を浴びると食事で摂ったビタミンDは活性型ビタミンDに変化します。カルシウムの吸収を高め、骨が丈夫になります。

又、幸せホルモンと言われる「セロトニン」が分泌され気分がリフレッシュされるそうです。心身ともに健康でいたいですね。しっかり食べて、外で少し散歩されたらいかがでしょう。



管理栄養士 河内美子

王喜の郷デイサービスセンター

3月17日にひな祭りお茶会が開催され、王喜の郷の皆さんが参加されました。吉村理事のたてて下さいました抹茶と厨房で作った抹茶団子を食べられ「美味しい◎」と皆さん大変感謝されていました。

デイサービスでは今年度、皆さんが日頃から機能訓練を熱心に取り組んでおられますので、結果を数値に表し皆さんの今後の励みにして頂きたいと思っております。



介護職員 満瀬 伸

グループホーム王喜の郷

桜の花も美しく咲きそらい、うらかな春の日差しが心地よい季節となりました。

3月より、グループホーム王喜の郷の管理者になりました「田積 薫(たづみ かおる)」と申します。

グループホームでは、アットホームな雰囲気作りに重点を置き、入所者様の個性を尊重し、より自宅の生活に近い暮らしを実現させる事を目標に、職員一同頑張りますので、よろしく願いいたします。

3月17日に開催されたひな祭りお茶会に3名の方が参加されお抹茶とお茶菓子の接待を受けられました。お茶会では笑顔が多く見られ、楽しそうに過ごされていました。

4月の初めには、桜見学ドライブを行うなど、皆様に季節感を味わって頂ける行事を行って行く予定です。

管理者 田積 薫

王喜の郷居宅介護支援センター

担当の利用者さんですが、通所サービスを週1回利用されていましたが、身体機能の低下があり、通所サービスに行きたくないと言われるようになりました。どの様に支援したら良いか考えているとご家族より、人との交流をして欲しいと希望があり、週1回ヘルパーで入浴の支援をする事になりました。週1回1時間の支援ですが、ご本人には生活のリズムが整い、他者と交流する時間を持つ事ができ、自宅での生活を続けられています。

フレイルの中に、社会との交流とありますが、外に出る事だけが交流ではないと感じました。

下関市より65歳以上の方にコロナワクチンの予防接種の予約券が3月末頃より順次発送されるとのことでしたので無くされないよう保管をお願いします。

介護支援専門員 石川 ゆかり

王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

以前行った、利用者アンケートでヘルパーが訪問して良かったと思ってもらえたことの中に時間に余裕ができた等があります。その他に、精神的に助けられた、誰かが来ることで意欲が出て日頃できないこともヘルパーが来ることでできるようになったとの回答がありました。

これからも利用者の方に寄り添い共に歩むサービスを心がけ日々支援に励んでいきたいと思っております。

まだまだ一日の中でも寒暖の差があります。

体調には十分お気を付け下さい。



訪問介護員 山本 美弥子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

桜の花が芽吹いた今日この頃。

先日お茶会が行われ、ミントからも7名の利用者の方が参加されました。いつもと違った雰囲気の中で、隣の方との会話など楽しめる様子が見られました。お茶会の帰りには「抹茶が飲めるとは思わなかった」という声が聞かれました。道端のつくしを見つけて、摘み取られたり、つくしの食べ方、料理法をいろいろ教えて下さいました。

4月には花見ドライブを予定しております。皆さん、たくさん春を感じられたらいいですね。



介護職員 上杉 加代

放課後等デイサービス さくら

今年度は利用児に卒業生が多く、一足早い春休みを過ごしています。

1年間を振り返ると子ども達は色々な成長を見せてくれました。紙パンツで過ごしていた子が完全とは言えないまでもトイレで排尿できるようになったり、声をかけてもオウム返しが多かった子が、人をみて「誰?」と関心を示すようになりました。また、型はめパズルがなかなか上手にできなかった子が指先を上手に使い、難しいパズルができるようになったり、スケジュールを立ててもらっていた子が自分で予定を確認して手帳に記入できるようになりました。今月のおやつ作りは、子どもからはっきりと「ホットケーキが食べたい!」との意見が出たのでホットケーキにしました。自分の意見をはっきり言う子ども達から伝える事の大切さを感じさせられました。

支援員 塩谷 一雅